

**2018年度（2019年春季）  
HOPS 国際フェロー  
「コミュニティ・ディベロップメント・プログラム」**

**[ 1 ] バルカン現地調査コース**

2018年9月

北海道大学公共政策大学院（HOPS）

北海道大学公共政策大学院では、グローバル化時代にふさわしい人材を育成すべく、海外における教育やキャリア形成の機会づくりを奨励しています。その一貫として、マケドニア共和国の大学「ユーロカレッジ」を受入先として研修プログラムを実施します。派遣される学生は「HOPS 国際フェロー」として、派遣に際して奨学金が付与されます。参加希望者は下記にしたがって応募して下さい。



■ 派遣時期：2019年2月上旬～2月下旬の間の約2週間

■ 場所：マケドニア共和国（スコピエ市およびその周辺）

■ コース・プログラム内容：

- 1) 対立的多民族共存環境、独立後の国家建設、生活環境、将来の希望等についてのヒアリング、マケドニア当局との情報・意見交換、各種の文化行事等への参加等
- 2) 各国際機関・日本大使館への表敬訪問、意見交換など
- 3) 実施関係者との協力事業、交流事業など

※プログラムは参加者が主体的に構成し、ユーロカレッジ現地スタッフ、HOPS 担当教員と協議して決定する。

※治安状況は平穏ですが海外旅行傷害保険に各自入られることを推奨します。

※説明会（10月4日（木）13：00よりW310にて）があるので、参考にすること。

※過去のプログラムの様子や参加者体験談は下記サイトで見るすることができます。

<https://www.hops.hokudai.ac.jp/education/voice/intl-fellowship-experiences/>

■ 募集定員：コミュニティ・デベロップメント・プログラムで3名程度（1人当たり20万を上限として奨学金を付与／昨年例）

■ 応募資格：下記の全てに該当する者

- 1) HOPS 現役学生および HOPS 進学内定者
- 2) 国際問題・開発援助等に強い関心を持ち、調査の計画・実施能力を持つこと
- 3) 英語での十分なオーラル・コミュニケーション能力を持つこと

※インドでのファシリテーター育成コースおよび他の国際フェロー・プログラムとの併願も可能です。

なお、下記の付帯条件を満たす必要があります。

- 1) 派遣前ブリーフィングに参加し、具体的なプログラム策定をプログラム担当教員と協議して行うこと。
  - 2) 研修実施後、調査レポート（単位認定あり、但し科目指定あり）を提出すること
- ※なお、公共政策大学院の最終年次の者については、その学修成果を、卒業・修了に必要な単位として認めることはできません

■ 提出書類・期限：

以下の書類を2018年10月18日（木）までに法学研究科・法学部教務担当に提出して下さい。

- 1) 応募用紙
- 2) 応募理由書（800字程度）
- 3) 派遣計画書（滞在先での活動等の計画書，600字程度）

■ 選考方法：書類選考および面接選考

面接選考は10月24日（水）の予定です（書類選考後に提示します）。

※入学予定者についてはスカイプでの面談が可能です。（その場合は事前に日程調整が必要です。）

■ HOPS 進学予定者による応募について：

奨学金を受け、進学しなかったものについては、奨学金の返済義務を負います。

■ 備考：

①手続き上の不明点は、法学研究科・法学部教務担当に問い合わせして下さい。（TEL:011-706-3120, kyomu@juris.hokudai.ac.jp）

②プログラム上の不明点は、樋渡雅人（mhiwatari@econ.hokudai.ac.jp 公共政策大学院准教授）に問い合わせして下さい。

**2018年度（2019年春季）  
HOPS 国際フェロー  
「コミュニティ・ディベロップメント・プログラム」**

**〔2〕ネパール・ファシリテーター育成コース**

2018年9月

北海道大学公共政策大学院（HOPS）

北海道大学公共政策大学院では、「グローバル」をキーワードに、グローバル化の進む世界の中で地域の抱える問題を発見し解決に導く人材を育成すべく、海外におけるフィールドワークやキャリア形成の機会づくりを奨励しています。その一貫として、ネパールの村において地域コミュニティ開発の手法を学び、地域づくりのためのファシリテーターを育成する研修プログラムを実施します。派遣される学生は認定 NPO 法人「ムラのミライ」が企画し、株式会社マイチケットが手配・実施する研修に「HOPS 国際フェロー」として参加し、派遣に際して奨学金が付与されます。参加希望者は下記にしたがって応募して下さい。



■ 派遣時期：2019年2月17日(日)～23日(土)の7日間

■ 場所：ネパール（カトマンズ市，ゴカルネシヨール市，ラリトプール市）

■ コース・プログラム内容：

- 1) 住民主体の地域づくりやゴミや川の汚染といった環境問題について、特定 NPO 法人「ムラのミライ」が企画し、株式会社マイチケットが手配・実施するワークショップおよびフィールドワークへの参加を通じ、対話型ファシリテーションの手法を学ぶ。
- 2) カトマンズの近郊の村で実際のプロジェクト現場を観察するほか、ゴミ問題に取り組む村の女性たちに会い、直接対話を行うなどして実践的な経験を積む。
- 3) プログラム

日付	プログラム
2月17日	夕方 カトマンズ市内の宿泊先に集合
2月18日	午前 オリエンテーション 午後 カトマンズの今と昔を知る街歩き（1）
2月19日	午前 近郊の村でのフィールドワーク 午後 ふりかえり
2月20日	午前 近郊の村でのフィールドワーク 午後 ふりかえり
2月21日	午前 近郊の村でのフィールドワーク 午後 ふりかえり
2月22日	午前/午後 カトマンズの今と昔を知る街歩き（2）
2月23日	朝食後、宿泊先にて解散

※移動にはすべて専用車を利用します。またネパール語／英語と日本語との逐次通訳がつきます。※札幌で12月1日（土）に開催予定のファシリテーション講座（参加費1万5000円）に参加することが望ましい。

※詳細は「ムラのミライ」のウェブサイト (<http://muranomirai.org/201902nepal>) にも記載されています。また、説明会(10月4日(木)13:00よりW310にて)での情報も参考にすること。

※過去のプログラムの様子や参加者体験談は下記サイトで見ることができます。

<https://www.hops.hokudai.ac.jp/education/voice/intl-fellowship-experiences/>

■ 費用：225,000円(ムラのミライ会員・サポーターは割引55000円)＋渡航費、旅行保険や査証代など

※危機管理の観点から、トリバン空港(ネパール)までの往復航空券及び海外旅行保険は、基本的に株式会社マイチケットを通じて手配ください。諸事情により、やむなく他社/ご自身で手配される場合は、旅行開始までにEチケットまたは予約確認書の写しを提出頂きます。

■ 募集定員：コミュニティ・デベロップメント・プログラムで3名程度(1人当たり20万を上限として奨学金を付与/予定)

※本コースは「HOP国際フェロー」としての派遣のほか、自費での参加も可能です。希望者は応募用紙にその旨を記載すること(自費での参加希望がフェローの審査に不利に働くことはありません)。

■ 応募資格：下記の全てに該当する者

- 1) HOPS 現役学生および HOPS 進学内定者
  - 2) 地域づくりやコミュニティ・デベロップメントに強い関心を持ち、実践のための意欲と能力をもつもの
  - 3) 日常生活に困らない程度の英語でのオーラル・コミュニケーション能力を持つこと
- ※バルカン現地調査コースおよび他の国際フェロー・プログラムとの併願も可能です。

■ 提出書類・期限：

以下の書類を2018年10月18日(木)までに法学研究科・法学部教務担当に提出して下さい。

- 1) 応募用紙
- 2) 応募理由書(応募理由を600字~800字程度にまとめたもの)

■ 選考方法：書類選考および面接選考

面接選考は10月24日(水)の予定です(書類選考後に提示します)。

※入学予定者についてはスカイプでの面談が可能です。(その場合は事前に日程調整が必要です。)

■ 単位認定：研修実施後、調査レポート(2単位、但し科目指定あり)を提出すること  
※なお、公共政策大学院の最終年次の者については、その学修成果を卒業・修了に必要な単位として認めることはできません。

■ HOPS 進学予定者による応募について：

奨学金を受け、進学しなかったものについては、奨学金の返済義務を負います。

■ 備考：

- 1) 手続き上の不明点は、法学研究科・法学部教務担当に問い合わせして下さい。(TEL:011-706-3120, [kyomu@juris.hokudai.ac.jp](mailto:kyomu@juris.hokudai.ac.jp))
- 2) プログラム上の不明点は、樋渡雅人([mhiwatari@econ.hokudai.ac.jp](mailto:mhiwatari@econ.hokudai.ac.jp) 公共政策大学院准教授)に問い合わせして下さい。